

取扱説明書

ポータブルカラオケセット

Ver. 1.0

型番: GRND-MICSPK-K13



もくじ	ページ
安全上の注意	2
使用上の注意	4
充電のしかた	5
各部の名称	6
使いかた(スピーカー)	7
使いかた(Bluetooth)	9
使いかた(パソコンで使う)	11
使いかた(MicroSDカード/USBメモリー)	13
使いかた(カラオケ)	15
Bluetoothについて	17
お手入れ	17
リチウム電池のリサイクルについて	17
故障かなと思ったら	18
商品仕様	20

- この度はポータブルカラオケセットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」、「充電のしかた」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。

この商品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。

No service is available outside of Japan.

安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■絶対に分解したり、改造しない



火災・感電の原因になります。

■火の中に投入したり、加熱しない



破裂による火災・けがの原因になります。

■水につけたり、水をかけない



感電・故障の原因になります。

■ケーブルプラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全だと感電・火災の原因になります。

■本商品内蔵の電池が液漏れした場合は直ちに使用を中止する



発火・炸裂の原因になります。

■本商品内蔵の電池の液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師に相談する



失明などの原因になります。

■異常・故障時は直ちに使用を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない



感電の原因になります。

■本商品やケーブルの充電用端子に液体やホコリなどが付着しないように清掃する



発熱・発火・やけどの原因になります。

■充電中の異常(充電しない、以前より熱くなる、本体が変形したなど)発生時は直ちに使用を中止する



直ちに使用を中止し、ゲオお客様サポートセンターにご連絡ください。

■本商品を落下させたり、強い衝撃や圧力を加えない



けがや破損の原因になります。

安全上の注意 必ず守ること



注意

- 本商品の上にものを置かない



けがや破損の原因になります。

- 油煙、湯気、湿度、ホコリの多い場所で使用しない



火災・感電・故障の原因になります。

- 不安定な場所に置かない



落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。

- 布で覆ったりして通風孔をふさがない



熱がこもって火災や故障の原因になります。

- 医療機器の近くで使用しない



電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す



電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。

- 商品仕様の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

- 本商品を長時間使用しないときはケーブルを外す



故障の原因になります。

- 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理機、圧力釜などの高圧機器に入れたり、近くに置いたりしない



火災・感電・けがの原因になります。

- 直射日光が強いところ、炎天下の車内での使用や保管をしない



破損・発熱の原因になります。

- 本商品を温度の高くなるストーブ・コンロなどの近くに置かない



液漏・本体の変形の原因、寿命が短くなることがあります。

- USBケーブルを抜くときはケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜く



ケーブルを持って抜くと断線や故障の原因になります。

- 充電中は、本商品および充電ケーブルの周りに物を置かない



感電・ショートの原因になります。

- お手入れの際は必ずケーブルを外す



火災・感電・けがの原因になります。

- 本商品にキャッシュカードなどの磁気カードを近づけない



本商品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる可能性があります。

- 幼児の手の届くところでは使わない



感電やけがの原因となります。

使用上の注意

- 本商品にスマートフォンやゲーム機器を接続する際は、必ず接続機器の注意事項に従ってください。
- 本商品のプラグが曲がっていたり、本商品の差込口の保持力が極端に弱い状態で使用しないでください。
- 本商品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本商品を近くでは使用しないでください。
- 交通機関や公共の場所では音量に注意し、周りの方の迷惑にならないようにしてください。
- 本商品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品を使用せず、長期間保管した場合、バッテリー性能は低下します。何回か充電を繰り返すと回復します。
- 本商品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本商品を使用した場合、罰せられることがあります。
- 本商品のUSB電源コネクターやヘッドホンプラグに液体や細かいゴミが付着した状態で使用しないでください。コネクターがショートして発熱・発煙するおそれがあります。

充電のしかた

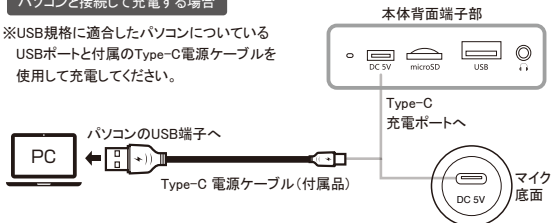
初めてお使いになる前に本商品を満充電してからご使用ください。

本体スピーカーの電池容量が低下すると、本体から音声アナウンス(ロウバッテリー)が約1分おきに流れます。

- ①付属のType-C電源ケーブルで、パソコンのUSB端子または別売りのUSBポート付きAC充電器と本体スピーカーまたはマイクのType-C充電ポートを接続して充電します。
- ②充電中は電源をオフにしてください。
- ③充電中はLEDランプが赤色に点灯し、本体スピーカーは約5時間、マイクは約2時間で満充電になります。満充電後、LEDランプは消灯に変わります。

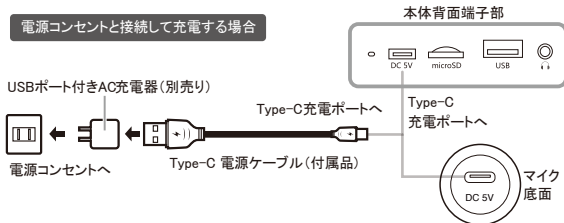
パソコンと接続して充電する場合

※USB規格に適合したパソコンについているUSBポートと付属のType-C電源ケーブルを使用して充電してください。



電源コンセントと接続して充電する場合

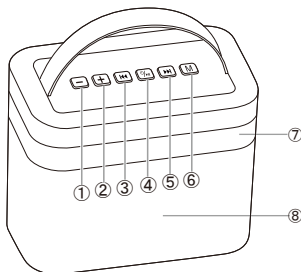
USBポート付きAC充電器(別売り)



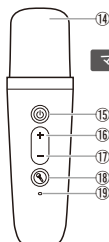
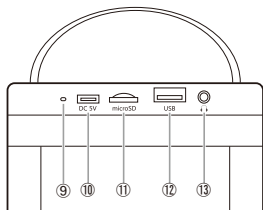
- ※本商品はPD対応AC充電器でも充電できます。ただし、急速充電には対応していません。
- ※ケーブルおよび本体のType-C充電ポートが汚れていると、充電できない場合があります。Type-C充電ポートが汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- ※汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

各部の名称

スピーカー本体



本体背面端子部



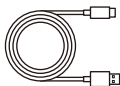
マイク側面



マイク底面

- | | | |
|----------------------|------------------|---------------|
| ① 音量－ボタン(－) | ⑧ スピーカー | ⑭ マイク |
| ② 音量＋ボタン(+) | ⑨ LEDランプ | ⑮ 電源ボタン(⏻) |
| ③ 曲戻しボタン(⏮) | ⑩ Type-C充電ポート | ⑯ 音量＋ボタン(+) |
| ④ 電源/再生/一時停止ボタン(⏻/⏸) | ⑪ MicroSDカードスロット | ⑰ 音量－ボタン(－) |
| ⑤ 曲送りボタン(⏭) | ⑫ USB-Aポート | ⑱ マイクボタン(🎤) |
| ⑥ メニューボタン(M) | ⑬ φ 3.5mmヘッドホン端子 | ⑲ LEDランプ |
| ⑦ イルミネーションライト | | ⑳ Type-C充電ポート |

付属品



Type-C電源ケーブル

使いかた(スピーカー)

本体の電源を入れる

- ①電源/再生/一時停止ボタン(⏮/▶)を約3秒長押しします。
- ②音声アナウンス(パワーオン、Bluetoothモード)が流れ、イルミネーションライトが点灯し、LEDランプが青色に点滅して電源が入ります。

本体の電源を切る

- ①電源/再生/一時停止ボタン(⏮/▶)を約3秒長押しします。
- ②音声アナウンス(パワーオフ)が流れ、イルミネーションライトが消灯し、LEDランプが消灯して電源が切れます。

自動電源オフ機能

Bluetoothモードでペアリングしていない状態で約10分ほど経過すると自動的に電源が切れます。

(マイクは本体の電源が入っていない状態で約10分ほど経過すると、電源が切れます)

※マイク接続している場合はペアリングしていない状態でも電源は切れません。

※音楽再生中にBluetooth通信可能範囲外に出ると、接続が切断されます。10分以内に範囲内に戻ると、自動的にBluetooth接続を復旧します。

※デバイスやアプリケーションの動作状況によっては機能しない場合があります。

イルミネーションライト切替

電源が入っている状態でメニューボタン(M)を長押しすると自動で色が変化する3種類のモードと消灯を循環して切り替えます。

※電源を入れた時は常にイルミネーションライトが点灯します。消灯でご使用になる場合は、メニューボタン(M)を長押しして切り替えてください。

使いかた(スピーカー)

モード切替

電源を入ると、Bluetoothモードになります。メニューボタン(M)を短押しするごとに Bluetooth⇒MicroSD⇒USBの順でモード切替を循環でおこないます。

※電源を入れたときにMicroSDカードまたはUSBメモリーが本体に挿入されている場合は、モードはMicroSDモードまたはUSBモードが優先されます。両方が挿入されている場合はMicroSDモードが優先されます。

メニューボタン(M)を短押しするごとに、MicroSD⇒USB⇒Bluetoothの順でモード切替を循環でおこないます。

※MicroSDカード、USBメモリーが挿入されていない場合はMicroSDモードおよびUSBモードは選択できません。Bluetoothモードのみとなります。

音量調整

音量＋ボタン(+)を1回押すと音量が大きくなります。

音量－ボタン(-)を1回押すと音量が小さくなります。

※音量が最大に達すると効果音が鳴り、それ以上音量は上がりません。

※音量の上げすぎに十分ご注意ください。

Bluetoothの接続

〈ペアリング〉

本商品と Bluetooth 機器を接続する行為をペアリングといいます。

- ①電源/再生/一時停止ボタン(🔊)を約3秒長押しすると、音声アナウンス(パワーオン、Bluetooth モード)が流れて、LED ランプが青色に点滅します。
- ②Bluetooth 機器(接続する機器)にてペアリングのための操作を行います。
Bluetooth 機器側で本機を検出した場合、“MICSPP-K13”の名称で表示されます。

使いかた(Bluetooth)

ペアリング

iPhoneとの接続例 ※機種やOSのバージョンによって設定方法は異なります。



- ① iPhoneの画面にある「設定」を選択します。 ②「設定」内の「Bluetooth」をタッチします。



- ③「Bluetooth」の「オフ」の部分タッチまたはスライドさせて「オン」にします。 ④検出されたBluetooth機器がリストに表示されますので、その中から「MICSPK-K13」を選択します。
- ⑤ペアリングが完了すると効果音(Bluetoothコネクテッド)が流れ、Bluetoothランプが青色の点灯に変わります。2回目以降のご使用では、電源を入れると最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。電源を切るとBluetooth接続は解除されます。



- ⑥Bluetooth接続を解除したり、登録を削除したい場合は、デバイス名の右をタップして次の画面でいずれかを選択します。Bluetooth接続を解除すると音声アナウンス(Bluetoothディスコネクト)が流れ、Bluetoothランプが青色の点滅に変わります。

使いかた(Bluetooth)

ペアリング(続き)

Androidスマートフォンとの接続例

※機種やOSのバージョンによって設定方法は異なります。

- ①スマートフォンの画面にある「設定」を選択します。
- ②「設定」内の「機器接続」を選択します。
- ③「機器接続」内の「新しい機器とペア設定する」を選択します。
- ④検出されたBluetooth機器がリストに表示されますので、その中から“MICSPPK-K13”を選択します。
- ⑤ペアリングが完了すると効果音(Bluetoothコネクテッド)が流れ、Bluetoothランプが青色の点灯に変わります。2回目以降のご使用では、電源を入れると最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。電源を切るとBluetoothは解除されます。

※Android端末でデバイス一覧に“MICSPPK-K13”がない場合は、スキャンをタップしてください。

※接続がうまくいかなかった場合は、スマートフォンのBluetooth接続を解除して、最初からやり直してください。Bluetooth接続を解除すると音声アナウンス(Bluetoothディスコネクト)が流れ、Bluetoothランプが青色の点滅に変わります。

Bluetooth接続時の音楽再生方法

本体上面のボタンを押して操作できます。

再生/一時停止

音楽再生中に電源/再生/一時停止ボタン(⏻)を短押しすると一時停止します。
一時停止中に電源/再生/一時停止ボタン(⏻)を短押しすると、一時停止が解除され、再生を開始します。

曲送り/曲戻し

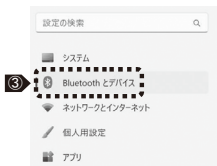
音楽再生中または一時停止中に曲送りボタン(▶▶)を短押しすると曲送りします。
音楽再生中または一時停止中に曲戻しボタン(◀◀)を短押しすると曲戻しします。
※使用するデバイスのOSやアプリによっては、曲戻しすると1つ前の曲ではなく、曲の頭に戻る場合があります。

使いかた(パソコンで使う)

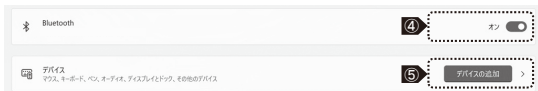
パソコンで使う

Windows 11の場合

- ①メニューボタン(M)を短押ししてBluetoothモードにすると、音声アナウンス(Bluetoothモード)が流れます。
- ②パソコン画面のスタートメニューを右クリックし、「設定」をクリックします。
- ③パソコン画面の左側のメニューより「Bluetoothとデバイス」をクリックします。



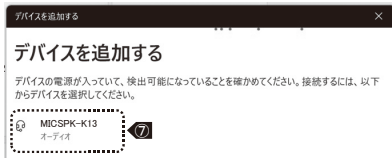
- ④「Bluetooth」項目の設定を「オン」にしてBluetoothを有効化します。



- ⑤「デバイスの追加」をクリックします。
- ⑥「デバイスを追加する」の画面が表示されるので、「Bluetooth」をクリックします。



- ⑦「MICSPK-K13」をクリックします。



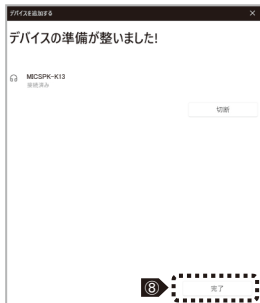
使いかた(パソコンで使う)

⑧接続が完了すると、パソコンに左の画面が表示されますので、「完了」をクリックしてください。

※10分以内に接続を完了してください。

※10分以上経過してしまったり接続がうまくいかなかった場合は、最初からやり直してください。

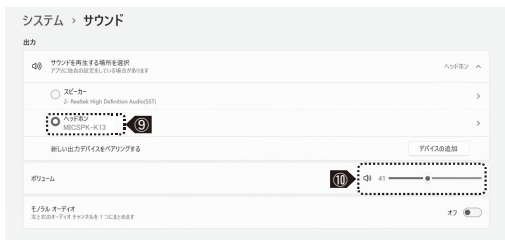
※“MICSPK-K13”の下に「接続されているマイク、オーディオ」と表示されていることを確認してください。「接続されているオーディオ」の場合はマイクが認識されていませんので、接続をやり直してください。



⑨音が出ない場合は、パソコンのスピーカーの設定を調整します。

パソコンのスタートメニューから「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックします。出力で“MICSPK-K13”を選択します。

⑩必要に応じてボリュームをスライドさせて調整します。

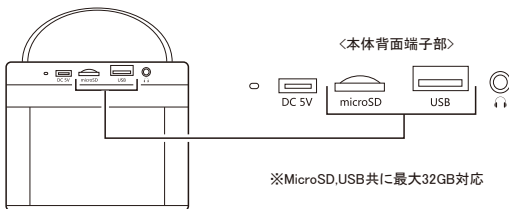


使いかた(MicroSDカード/USBメモリー)

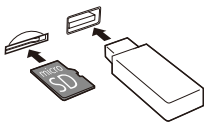
MicroSDカード/USBモード(接続・再生)

MicroSDカード(別売り)/USBメモリー(別売り)の音楽データ(MP3/WAV)を再生できます。

- ①下図のように本体背面のMicroSDカードスロットまたはUSB-AポートへMicroSDカードまたはUSBメモリーを挿入します。



MicroSDカードはカードのラベル面を上、端子面を下にして
MicroSDカードスロットに挿入してください。



- ②メニューボタン(M)を短押ししてMicroSDモード/USBモードにすると、音声アナウンス“プレイバイMicroSDカード”(MicroSDモード)／“プレイバイUSBドライブ(USBモード)”が流れて、自動的に音楽再生を開始します。

使いかた(MicroSDカード/USBメモリー)

MicroSDカード/USBモード(接続・再生)

再生/一時停止

音楽再生中に電源/再生/一時停止ボタン(⏻)を短押しすると一時停止します。
一時停止中に電源/再生/一時停止ボタン(⏻)を短押しすると、一時停止が解除され、再生を開始します。

曲送り/曲戻し

音楽再生中または一時停止中に曲送りボタン(▶▶)を短押しすると曲送りします。
音楽再生中または一時停止中に曲戻しボタン(◀◀)を短押しすると曲戻しします。

※曲戻しすると1つ前の曲ではなく、曲の頭に戻る場合があります。

※すべての機器で動作保証するものではありません。

※再生中または動作終了直後にMicroSDカード/USBメモリーを取り出さないでください。
データが破損するおそれがあります。

※デジタル著作権管理(DRM)されたファイルは再生できません。DRMとは、デジタルデータとして表現されたコンテンツの著作権を保護し、その利用や複製を制御・制限する技術の総称をいいます。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術などが有名ですが、広義には画像ファイルの電子透かしなどもDRMに含まれます。

※音楽再生は、MP3/WAV形式のファイルをパソコンから転送時に、専用ソフトを使って独自の暗号化(著作権保護)を施すもので使用されるファイルを入れたMicroSDカード/USBメモリーは本商品では再生できません。

※MP3/WAV形式ファイルは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないことがあります。

※MicroSDカード/USBメモリーを認識出来ない場合、他のMicroSDカード/USBメモリーにコピーしてご確認ください。

使いかた(カラオケ)

カラオケをする

マイクの接続

- ①本体スピーカーの電源を入れます。
 - ②マイクの電源ボタン(⏻)を約2秒長押ししてマイクの電源を入れます。
 - ③本体スピーカーとマイクの電源が入ると、自動的に本体スピーカーとマイクが接続されます。接続されるとマイクのLEDランプが青色に点灯します。
- ※マイクの電源を切るには電源ボタン(⏻)を約2秒長押しします。電源が切れるとマイクのLEDランプが消灯します。
- ※本体スピーカーは他社商品のマイクとは接続できません。マイクも他社商品のスピーカーとは接続できません。
- ※マイクは本体スピーカーと接続していない状態で約10分ほど経過すると自動的に電源が切れます。

マイク音量調整

- マイクの電源ボタン(⏻)を短押ししてマイク音量調整モードを選択します。
- マイク音量調整モードを選択すると音声アナウンス(マイクロフォンボリューム)が流れます。
- 音量+ボタン(+)を短押しするとマイク音量が大きくなります。
- 音量-ボタン(-)を短押しするとマイク音量が小さくなります。
- ※マイク音量が最大に達すると効果音が鳴り、それ以上音量は上がりません。
- ※本機のマイクは天面部にありますので、天面部に向かって声を出してください。
- ※ハウリング音が大きい場合は、マイク音量を下げてください。
- またはペアリングの機器との距離を変えてみてください。
- ※マイクの特性上、使用環境によってノイズ、音飛び、声を拾わないことがあります。

エコーレベル調整

- マイクの電源ボタン(⏻)を短押ししてエコーレベル調整モードを選択します。
- エコーボリュームモードを選択すると音声アナウンス(エコーボリューム)が流れます。
- 音量+ボタン(+)を短押しするとマイクのエコーレベルが強くなります。
- 音量-ボタン(-)を短押しするとマイクのエコーレベルが弱くなります。
- ※エコーレベルが最大に達すると効果音が鳴り、それ以上エコーレベルは上がりません。
- ※ハウリング音が大きい場合は、マイク音量を下げてください。
- またはペアリングの機器との距離を変えてみてください。
- ※設定されたエコーレベルは記憶され、次回起動時も引き継がれます。
- ※マイクの特性上、使用環境によってノイズ、音飛び、声を拾わないことがあります。

使いかた(カラオケ)

カラオケをする

スピーカー音量調整

マイク側で本体スピーカーの音量を調整することができます。
マイクの電源ボタン(⏻)を短押ししてスピーカー音量調整モードを選択します。
スピーカー音量調整モードを選択すると音声アナウンス(ミュージックボリューム)が流れます。
音量+ボタン(+)を短押しすると本体スピーカーの音量が大きくなります。
音量-ボタン(-)を短押しすると本体スピーカーの音量が小さくなります。
※音量が最大に達すると効果音が鳴り、それ以上音量は上がりません。
※音量の上げすぎに十分ご注意ください。

ボイスチェンジ機能

マイクボタン(🎤)を短押しするごとにマイクの音声効果を切り替えます。
音声効果は4種類あります。

ボーカルカット機能

マイクボタン(🎤)を2回続けて短押しすると、音源のボーカル音を消音する状態になり、曲の伴奏のみでカラオケを楽しむことができます。再度マイクボタン(🎤)を2回続けて短押しすると元の音声に戻ります。
※接続するBluetooth機器やアプリ、音源によってはボーカルカットが完全でない場合があります。ボーカルの音を完全に消音することができない場合や、伴奏の一部を同時に消音してしまう場合があります。

ヘッドホンでのご使用

本体背面部のφ3.5mmヘッドホン端子へ別売りのヘッドホンを接続して各モードで接続した音楽とマイク音声を聞くことができます。

Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応商品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声が途切れることがあります。
- 本商品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本商品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本商品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本商品での再生が遅れるため動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかることがあります。

お手入れ

- お手入れする前に、必ず本商品の電源をオフにして、USB電源からUSB電源コネクタを外してください。
- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤や石けん水に浸した柔らかい布をよく絞って汚れをふき取り、柔らかい布でふき取ってください。
- 本商品のポートやケーブルのプラグにホコリなどが溜らないように定期的にお手入れしてください。ホコリが溜るとショートして発煙、発熱の原因になる恐れがあります。

リチウム電池のリサイクルについて



Li-ion

この商品にはリチウムイオン電池が使用されています。不要になりました電池は廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。希少資源を有効に活用するため、リサイクルにご協力ください。



詳細はここから

故障かなと思ったら

充電できない、電源が入らない

- 電池残量が低下しています。本商品を充電してください。
- 本商品とパソコンまたはAC充電器が正しく接続されているかご確認ください。(P.5参照)
- 本商品の充電ポートやケーブルのプラグが汚れていると、充電できない場合があります。ホコリがたまらないように定期的にお手入れしてください。

音が出ない

- 本商品または接続機器の音量を上げてください。
- 各端子・プラグが正しく接続されているか確認してください。
- 使用したいモードを正しく選択しているか確認してください。

Bluetooth機器とペアリング(登録)できない

- 本商品と接続している機器の電源を両方とも切り、機器情報(デバイス登録)を削除してから再度Bluetooth接続やペアリングを行なってください。
- 接続するBluetooth機器側の機能が使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetooth機器側が本商品のプロファイルに対応しているか確認してください。
- 接続するBluetooth機器と本商品をなるべく近づけて登録してください。
- ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合があります。再度設定しなおしてください。
- 近くに別のBluetooth機器がある時は、別のBluetooth機器の電源を切るか、その機器から離れた場所で登録してください。
- Bluetooth機器の電源を切り、再度電源を入れ直してお試しください。

Bluetoothの音が途切れる、または音質が劣る

- 接続するBluetooth機器と本商品を近づけて使用してください。
- 接続するBluetooth機器と本商品の間にある障害物を選んでご使用ください。
- 他の無線機器、電子レンジなどの電波干渉機器が近くにある場合があります。干渉の元と思われる機器から離れて使用してください。

Bluetoothの音楽が再生できない

- 接続するBluetooth機器と本商品の電源を入れてください。
- 再度ペアリング(登録)をしてください。
- Bluetooth機器と本商品の音量を大きくして調節してください。Bluetooth機器側で音楽再生ができるかご確認ください。
- ファイルやWebサイトによってBluetoothでの再生をサポートしていない場合があります。
- スマートフォンの仕様により、ダウンロードした動画等の音声はBluetoothでは聴取できない場合があります。
- カラオケアプリ使用時、スマートフォンなどでBluetooth接続しても音楽がスマートフォンからしか流れない場合があります。

故障かなと思ったら

MicroSDカードおよびUSBメモリーが再生できない

- MicroSDカードまたはUSBメモリーがFAT32/EXFATのいずれかでフォーマットされているか確認してください。
- データがMP3/WAVのいずれかの音楽フォーマットで保存されているか確認してください。
- MicroSDカードまたはUSBメモリーが正しい方向で、奥まで差し込まれているか確認してください。
- 正しいモードに設定されているか確認してください。

商品仕様

商品向上のため、商品仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<スピーカー本体>

商品仕様	サイズ	約 横125×奥行75×高100mm
	質量	約596g
	使用温度範囲/湿度範囲	5～40℃/20～80%(ただし結露なきこと)
スピーカー部	スピーカー出力	10W (5W×2)
	スピーカーサイズ	φ 52mm×2
	音圧感度	90dB
	インピーダンス	4Ω
	再生周波数帯域	50Hz～20kHz
	Bluetooth	Ver.5.3
通信仕様	使用周波数帯域	2.4GHz帯
	対応プロファイル	A2DP/AVRCP/HSP
	対応コーデック	SBC
	受信距離/送信出力	約10m/Class2
	充電電圧	DC5V
電源/ 充電仕様	充電時間	約5時間
	内蔵バッテリー容量	3000mAh
	充電ポート	Type-Cポート
	Bluetooth	Bluetooth
その他	入力	MicroSDカード: ~32GB (MP3/WAV) USB-A: ~32GB (MP3/WAV)
	出力	ヘッドホン端子 (φ 3.5mm)
	連続再生時間(※1)	約4時間

(※1)使用時間は50%音量の条件にて算出。接続するBluetooth機器との距離が長い場合など消費電力が増加するために再生時間が短くなる場合があります。

商品仕様

商品向上のため、商品仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<マイク>

商品仕様	サイズ	約 横37 × 奥行37 × 高135mm
	質量	約78g
	使用温度範囲/湿度範囲	5～40℃/20～80% (ただし結露なきこと)
マイクロホン部	マイク感度	-48dB
通信仕様	Bluetooth	Ver.5.3
	使用周波数帯域	2.4GHz帯
	対応プロファイル	HOGP
	受信距離/送信出力	約10m/Class2
電源/ 充電仕様	充電電圧	DC5V
	充電時間	約2時間
	内蔵バッテリー容量	500mAh
	充電ポート	Type-Cポート
付属品	電源ケーブル	Type-C 電源ケーブル (約0.76m)
	取扱説明書兼保証書	保証期間6ヵ月

本商品は工事設計認証を受けています。

スピーカー本体   210-222188

マイク   210-222185